

事業所における自己評価結果(公表) 令和4年度分

公表:令和5年 5月24日

事業所名 東京YMCA PIT西早稲田

回答者 7名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1		・広い教室が利用できる時は、卓球やバドミントンなど身体を動かすプログラムを実施している。	
	②	職員の配置数は適切である	5	2		・同じ建物の中に、同法人の他部署が入っている。状況によって、公認心理師や高等学校教員などにも応援をお願いしている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	4			・段差など難しい部分もあるが、可能な範囲で肢体不自由、視覚不自由の方も利用しやすくなるような対応策を検討している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2		・月1回定例職員会議を実施して、情報共有や課題の改善について時間をかけて意見交換をしている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			・調査結果について、職員会議で検討する時間をもち、業務改善につなげている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		・東京YMCAのホームページ・事業所の廊下にて公開している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	5		・第三者外部評価を実施する必要があると考え、検討している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	3	1	・東京都の研修に参加したり、事業所としても研修を実施している。	・時間が取れず進めきれしていない面もある。職員会議の中でも機会を設けていきたい。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		・毎日の打ち合わせや振り返り、月1回の職員会議で情報をシェアし、複数の目で観察や分析、対応を検討している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		5	2		・本事業所では実施していないが、保護者から提出された他機関で行われた心理検査、知能検査等の結果を加味している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			・複数で立案し、意見を出し合いながら準備をしている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2		・水泳では着衣水泳。 ・教室では野菜の栽培、集団遊び、工作などプログラムを毎月実施している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3		・長期休暇では教室の支援時間が長くなるので、時間に応じたプログラムを設定して取り組んでいる。	・通常休講日の土曜日を利用して希望者を募り、特別行事(児童館へ遊びに行くなど)の実施を検討している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			・水泳、教室どちらも、意識して計画を作成している。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	7			・毎日、事前打ち合わせの時間をもち、当日の支援の確認と前回の支援からの引き継ぎを行っている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			・毎日、振り返りを実施し、記録を取っている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			・個別に記録を取り、職員会議で検証し、改善につなげている。	
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	1	・月1回の職員会議で情報を共有して、複数の目で分析、検討をしている。 ・保護者とも相談して、経過を踏まえ変更の対応もしている。	未記入1
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	2		・コロナ感染予防に努めつつ、可能な範囲で実施した。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2			・今年度担当者会議はなかったが、開催の場合は管理者、児童発達支援管理責任者が参加してきた。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	1	・必要な範囲で情報共有を行っている。利用者の個人情報に関する内容の場合は、保護者に確認の上、実施している。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	2		・現在、該当児童を受け入れていない。受け入れる場合は、主治医等と連絡体制を整える。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3	3		・特に情報共有は出来ていない。新一年生を受け入れる場合は実施していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	6			・ご本人と家族の同意が得られ、希望された範囲で提供することになっている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	2	・相談支援事業所からモニタリングで来た職員の方と意見交換をしたり、アドバイスを受けたりしている。	・利用者の支援につながる地域の専門機関との連携を築く努力をしていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	5		・ご家庭の希望を確認の上、まずは近隣の児童館との交流の実施を検討している。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		3	4		・参加は出来ていない。今後機会があれば参加を希望する。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え 合い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	7			・送迎時に話す時間を設けたり、 電話やメールを利用して連絡を 取り合っている。 ・状況に応じて、面談を実施して いる。	
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等 の支援を行っている		5	2	・保護者の悩みや児童の課題に 対してアドバイス、支援を行って いる。	・ペアレントとレーニング等の 支援は今後実施に向けて検討して いきたい。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	7			・初回契約時や書類配布時に、 口頭や文章で説明を行っている。	
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に 対する相談に適切に応じ、必要な助言と 支援を行っている	7			・相談を丁寧に聞き取り、 アドバイスや支援を小まめに 行っている。	
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	3	3	1	・利用曜日ごとの保護者会を 開催している。	・保護者同士が意見や情報交換が できる時間を持てるように企画して いきたい。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、 対応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅速 かつ適切に対応している	7			・利用者や保護者からの ご意見、情報をスタッフで共有し、 検討の上、対応している。	
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や 行事予定、連絡体制等の情報を子どもや 保護者に対して発信している	7			・毎月おたよりを発行して 全利用者に配布している。 ・急な変更は、電話やメール、 ホームページを使って発信して いる。	
	㉘	個人情報に十分注意している	7			・個人情報に関する書類は 鍵付きの部屋の鍵付き書庫で 管理している。 ・パソコンのデータ管理は、 法人の規則に基づいて管理して いる。	
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			・利用者の特性に合わせて 方法を選び、会話のみならず、 文字や絵、動作で示して情報 共有に努めている。保護者とは、 直接の対話以外にもメールや 電話などを用いている。聞く 姿勢を心掛けて対応している。	
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	3	・法人の自主事業の主催で 11月にお祭りを開催して、地域 住民の方にもご参加いただいた。	
	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や 保護者に周知している	7			・マニュアルは事業所の部屋の 前のファイルを自由に閲覧できる ようになっている。 ・防犯に関しては、建物全体の 防犯体制に準じて対応している。	
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	6	1		・教室は四半期に1回避難訓練を 実施している。(一時避難場所 までは年1回、利用者と一緒に 現地行って確認している)。 ・プールは年1回避難訓練を 実施している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2		・外部研修に参加している。 ・内部では職員全体での研修を年1回実施している。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1		・安全確保のため身体に触れる場合について、職員間で情報を共有・検討し、保護者の了承を得た上で対応している。また、支援計画書にも記載して、保護者に口頭でも説明している。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	2		・食物の提供はしていない (麦茶のみ希望者に提供)。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	1	・事例集を作成して職員で共有している。	・新しく入った職員にも、これまでの事例集を周知する。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。